



地の果ての大自然

パタゴニア

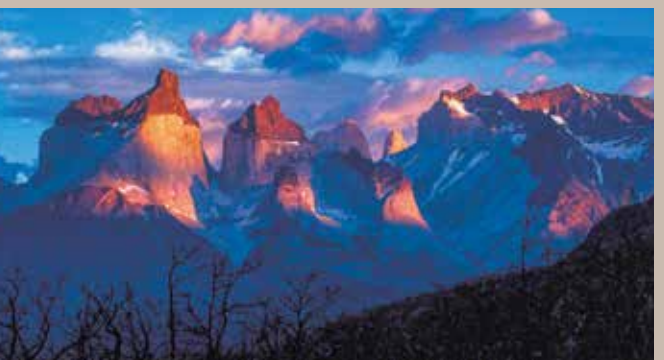
Explore Patagonia's magical landscapes

壮大なスケールを誇るパイネ山群

尖峰連なるフィッツロイ山群

チリ／パイネ山群(トーレス・デル・パイネ国立公園)

広 大なパタゴニア地方の南部、チリ領にある荒々しい山容の山々が連なる山群がパイネ山群です。最高峰のパイネ・グランデ(3,050m)をはじめ、トーレス・デル・パイネ(パイネの岩塔群)やクエルノ・デル・パイネ(パイネの角)など、氷河によって削られた花崗岩の奇峰群は、眺める角度によって様々な形に変化します。また、周辺にはサルト・グランデ(パイネ大滝)や大きな氷塊が浮かぶグレイ湖など、多くの見所が集まっています。初夏から夏(11月~2月)にかけて山麓には多くの花が咲き、繁殖期をむかえたグアナコなどの野生動物の姿をよく目にします。ホテル泊で楽しむ日帰りハイキングから、快適な設備が整った山小屋を利用したトレッキングまで、様々な体力レベルに合わせたスタイルでパイネ山群の展望を楽しむことができます。



朝陽に燃える芸術的な山容のパイネ山群を展望する



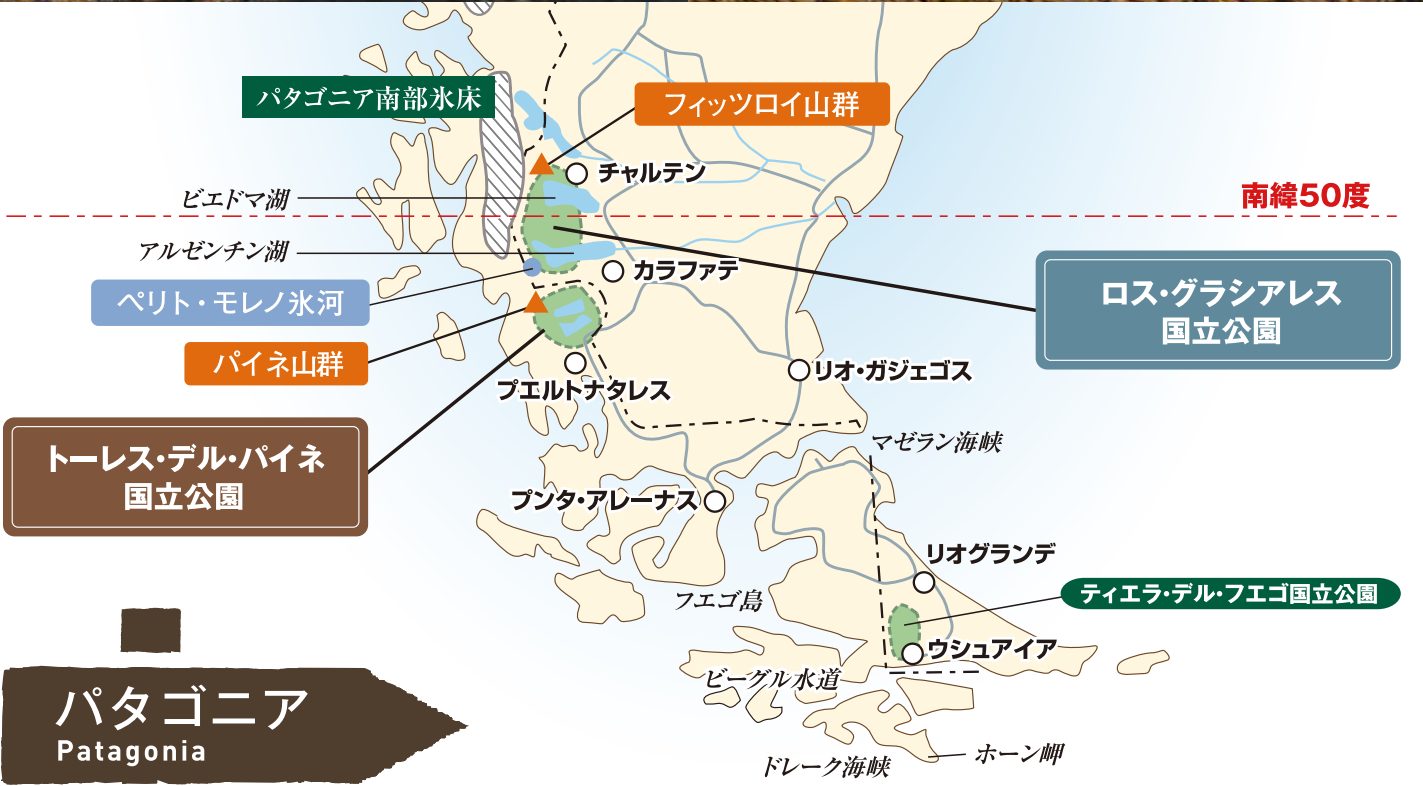
3つの岩峰が連なる迫力のトーレス・デル・パイネを見上げる



パイネ山群を代表するクエルノ・デル・パイネを展望するハイキング



パイネ山麓にたくましく生きるグアナコの群れ



南米大陸の南端、アルゼンチンとチリにまたがる南緯40度以南の最果ての地“パタゴニア”は、生物学者ダーウィン、探検家エリック・シプトンやティルマン、そして作家サン・テグジュペリや紀行作家ブルース・チャトウィンなどをはじめ、多くの人々をひきつけてきました。パタゴニアというどうしても、氷雪抱く花崗岩の岩峰や南極、グリーンランドに匹敵する多数の氷河ばかりに目を奪われがちですが、この地の大半を占める地平線まで伸びる広大なパンパの大平原を車で走り、大空に流れる雲を眺め、吹き抜ける風を感じ、厳しい自然に生きる人や動植物などとの出会いこそ、パタゴニアの旅をいっそう魅力的にする要素のひとつです。ぜひ、アルパインツアーでパタゴニアの大地の息吹を感じる山旅にでかけましょう。

アルゼンチン／フィッツロイ山群(ロス・グラシアレス国立公園)

大 陸氷原の東側、アルゼンチン領にある世界的に有名な山群です。セロ・トーレ(3,102m)やフィッツロイ(3,405m)に代表される、芸術的な3,000m級の岩峰群が立ち並び、世界中のクライマーの憧れの対象となっています。特にフィッツロイの西南に聳えるセロ・トーレは、オベリスクの頂上に巨大なキノコ形の氷塊をいただく“岩山の極限の形”とされ、加えて大陸氷原を吹き抜ける強風をまともに受けるため、“登るのに世界で最も困難な山”とも呼ばれています。フィッツロイ山群は山麓に位置する町チャルテンからも見上げるほどの近距離に位置するため、日帰りのハイキングでも十分に迫力ある展望が楽しめます。山中での宿泊を伴うトレッキングは、自然保護のため山小屋は無くテント泊となりますが、寝袋を含めた幕営装備はスタッフがすべて運ぶため、身体への負担は少なくおすすめしたい旅のスタイルです。



美しい山上の湖ロストレス湖からフィッツロイ峰を望む



フィッツロイの岩峰群を正面にベースキャンプを目指す



ロス・グラシアレス国立公園に位置する世界遺産・ペリト・モレノ氷河。豆つぶのような人の大きさからそのスケールがわかる。